

愛鷹の

愛鷹観光マニュアル

愛小の6年3組 愛鷹観光マニュアル製作グループ3名が、紹介します！！我々は、発信！ふるさと愛鷹～今そして未来～という授業で、ふるさと愛鷹を豊かにするため「愛鷹に人を呼びたい！」という思いでこのマニュアルを作成しました。我々は、赤野観音堂、八畳石、光厳寺、多目的競技場、興国寺城跡、についてまとめました。

目次

1 愛鷹広域公園 多目的競技場

2 光嚴寺

3 興国寺城跡

4 八疊石

5 赤野観音堂



(あしたかこういきこうえん、たもくてききょうぎじょう)

1 愛鷹広域公園、多目的競技場



多目的競技場（愛鷹広域公園）は静岡県沼津市愛鷹の北部に位置するまわりを森で囲まれた自然豊かな環境の中にあり多目的競技場を中心とした屋外スポーツ・レクリエーションの場として活用されています。それにくわえて園路・広場を中心に県民のつどいの場として利用されています。陸上の大会や沼津のサッカーグループの練習場としても使われています。

2 光厳寺（こうごんじ）



鳥谷バス停から徒歩4分そこに光厳寺があります。

時より小学校の写生会が行われてたりするほど、景観が美しいです。そのお寺の歴史は、（沼津市鳥谷 光厳寺）元々根古屋にありましたが、北条早雲が、興国寺城を、拡張するに当たって鳥谷に移転、その後、江戸時代、徳川家光の頃に、”あわら荒原”と呼ばれていた現在地にこのお寺を建立されました。近年の祭りとしては、”星祭り” ”火祭り” などがあります。

(こうこくじじょうあと)

3 興国寺城跡



根方街道に沿っていくと、そこには、大きな丘があります。そこが興国寺城跡です。また、別名高国寺城跡とも呼ばれています。興国寺城跡は、標高36mのところ立地しており、今川、北条、徳川、武田氏が、繰り返し改修工事を繰り返しています。現在、国による、国指定史跡となっています。

愛鷹小の児童としては、愛鷹唯一の城なので、これからも大切にしていきたいです。

(はちじょういし)

八畳石



八畳石は、大きな石で、地元の子供達に愛されています。近くに、高橋川の源流が流れ、凄く美しい自然が見られます。

八畳石（はちじょういし）高さ三メートル、近くに、大きな池があります。石の上面は平らになっていて、約50平方メートルの広さがある巨大な石です。江戸時代の大
雨で山の東側部分から、落ちてきたと言われています。また、白隠禅師が少年時代に
この石の上で修行したと言われています。

そして、この前の道をたどると、赤野観音堂があります。

(あけのかんのんどう)

赤野観音堂



八畳石に引き続き、今回は、赤野観音です。ここは、愛鷹山の森林に囲まれ、とてもいいところです。元旦の初日の出には、歩こう会が開かれたりしています。

赤野観音堂（あけのかんのんどう）は、沼津市愛鷹（あしたか）に古くからある建物です。ヌマヅノタカラ100選にも選ばれていて沼津新八景にも選ばれています。市内でも数少ない江戸前期の建築様式を示す建物で市指定有形文化財となっており、左甚五郎が、わら人形に手伝わせて一夜のうちに造ったというわら人形伝説も伝えられています境内には大カヤの木があり市の指定天然記念物になっています。わら人形伝説は愛鷹ではかなり有名な話で小さい小学生までも知っています。

写真、資料

ヌマヅノタカラ100選

静岡県東部地域コンベンションビューロー

わかの観戦日記

沼津市史

より

以上、愛鷹観光マニュアルでした。これを見て、一人でも多くの方がぼくたちのふるさと、愛鷹にきてくれたらうれしいです。

H28年度 6年3組 愛鷹観光マニュアル製作者 3名